

第4回旧陸軍歩兵第44連隊跡地保存活用検討委員会

1. 開催日

令和元年10月31日（木）

2. 意見抜粋

【議事1 旧陸軍歩兵第44連隊跡地保存・活用基本方針（案）について】

- ・文章はこうしたほうが良いなど、いろいろな意見があると思うが、おおむねこれで良いのではないか。
- ・首里城のこともあり、思わぬ事態が起こりうることを頭にいれて、保存活用をしていかなければならない。
- ・陸軍墓地については、考古学的に調査と実測をしたら良いのではないか。
- ・この委員会の成果を反映させて、国立病院や高知大学などとも、活用できる体制を構築して頂ければと思う。
- ・この方針や活用方法については、いままで議論を重ねてきたものが、うまく反映されていて、これがバランス良く進めば良いと思う。
- ・建造物の保存活用だけではなく、学習の場として展開していくことが必要であろう。
- ・いろいろな意見がありながら、そのなかで将来を考えていく場になれば良いと思う。
- ・専門の先生方と話しをして、用語の問題を整理したほうが、文章として間違いのない概念が書き込まれるのではないか。
- ・現実の展開を想定したなかで、対応できるような言葉を差し込むなりしたほうが、良いのではないか。
- ・過去の委員会が出た意見を取り込んだ形で、文章を整えて頂きたい。
- ・文章表現上もう少し検討する余地があるが、今後事務局で取りまとめて、基本方針を作成して頂きたい。

【その他】

- ・こういう場所がきちんと保存されていく、あるいは建物が利活用されていくことは、大変意義深いことである。
- ・戦争の記憶が消えつつある時に、近代史というものが深まっていく場所になってもらいたい。

- ・これからの子どもたちに、近代における戦争の時代というものを教えていく、繋げていくということが重要なことである。
- ・私たちもこれからいろいろ勉強して、協力していきたい。
- ・登録有形文化財ということ当初から言い続けてきたこともあり、土地の購入の意義付けなり、動機付けができたということになるならば、この土地が整備活用されていくことになって、本当にうれしく思っている。
- ・戦争遺品を次の世代に引き継ぎ、家庭のなかで話していくことも一つ大事なことである。
- ・年代別に証言を集めると、戦争についての考え方の変遷がすごく分かってくるんじゃないか。
- ・このように保存活用していけるようになったことは、非常にありがたい。
- ・時間の割には、非常に実のある会合が続けられたのではないか。
- ・土地の問題から始まって、将来の活用についてまで論議する場が作られたことに、敬意を表したい。
- ・高知県の皆様がこのような戦争に関する遺跡を活用していく、多くの県民に供する場としたいという意向を示されたということは、大変うれしく思う。